

日本語ボランティア養成講座を実施しました



5～6月に開催しました本講座は、20名の方が受講され、日本語を教える時の授業の流れや、気を付けなければならない事を学びました。講師は、ボランティアをしながら日本語教師として活躍されている方にお越し、日本語を外国語の1つとして捉えて教えることが、学習者の理解につながることを学びました。

今回は、外国人の方からは、生活で使える日本語を覚えたいという声が多い

ことから、生活場面を切り取って教える方法も考えました。地震後ということもあり、テレビやラジオの情報を理解し、自分の命を守ることを教えるにはどのような授業展開が考えられるか学びました。普段の活動とリンクさせ、日本語教室が生活を豊かにする場になっていくといいですね。

日本語教室で活動するために、授業プランを書いて、模擬授業も行いました。教材を活用しながら、導入・展開・確認・まとめをグループで考えました。ほかの人の授業を見ているとだんだんやり方がわかってきたのか、最後の方のグループはレベルの高い授業になりました。



ボランティア活動では、毎回プランを書くところまではしなくてもいいと思いますが、授業の流れがわかっていくと学習者の理解が進むことも実感できたと思います。



ススさんによるミャンマー語講座

また、国際大学の留学生ススさんとカインさんにミャンマー語をミャンマー語で学習する講座をしていただき、日本に来て初めて日本語を学習する外国人の気分を体験しました。文字が分からなかったり、ジェスチャーも違ったりと、貴重な異文化体験が出来ました。

受講された方からは、「あっという間の講座だった」「もっと学習したい」「教室を見学してから活動に参加したい」といった嬉しいご意見をいただきました。

日本語ボランティアにご興味をお持ちの方は、協会までご連絡ください。